

愛知県議会議員・坂田けんじの県政レポート



ものの本によると、古来より「冬至」を境にして物事は「陰から陽へ」または「陽から陰へ」と変化を見せると言われております。昨年末の衆議院総選挙における日本の政権のリセットや、隣国である韓国大統領選挙における女性初の大統領誕生などは、まさにその一つであるかと思われます。日本全体が大きな衝撃と損害を受けた東日本大震災はまだまだ復興道半ばであり、何よりもそのためにも必要である「日本経済の再建」という大きな命題を新政権は担っています。

皆さんがより身近に感じるようになった「南海トラフ地震」。

今回は、自分たちの命は自分たちで守るための「減災・防災」や「安心・安全」に関しての情報共有特集号といたします。

**誠実に
プレー事なく。**



今現在、坂田けんじは右表にある沢山の議員連盟に所属し活動を行っています。

中でも消防・地震防災議員連盟では事務局長を担っており、県民の皆さんへの減災・防災情報や安心・安全に関する情報提供などホットな情報が集まるポジションにいます。この中で皆さんがお知りになりたい情報がありましたら、どんなことでも結構ですので坂田けんじにお問合せ下さい。

**情報
その1**

愛知県として減災・防災に関する情報をホームページを通してお伝えしています。豊明市内のどの地域にお住まいを入力するだけで、東海東南海地震動連動時におけるその地域の震度や液状化危険度、津波波高などが予測値として見ることが出来ます。是非一度ご自分の目で確かめてみてください。

**情報
その2**

「地震ハザードステーション J-SHIS」という全国地震動予測地図や各種地震に関する情報が NIED 独立行政法人 防災科学技術研究所から発信されています。

愛知県防災学習システム

検索



その他の質疑や詳細は愛知県公式ホームページ<http://www.pref.aichi.jp>からご覧になれます。

Information

防災・減災セミナーのご案内

豊明市内では身近なところで防災や減災をテーマにした催し物が行なわれています。

年初に企画されているお役立ち情報です。皆さんお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

豊明市防災講演会

TOYOAKE

3.11東日本大震災を体験して
大震災から約2年被災地は今・・・

講師 佐々木桂一郎 氏

宮城県大崎市市民協働推進部危機管理課 兼 防災安全課長

- 平成25年1月19日（土）13：30～15：30
- 豊明市文化会館小ホール 入場無料
- お問い合わせ 豊明市役所総務防災課防災安全係
TEL 0562-92-8305

市民地震災害軽減フォーラム
豊明市商工会第6回防災セミナー

南海トラフ地震、その最悪のシナリオとは・・・
～大地震に立ち向かう知恵と方法～

講師 福和 伸夫 氏

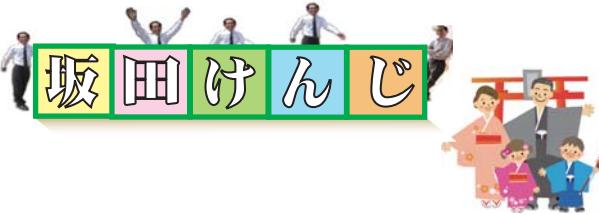
名古屋大学大学院教授 減災連携研究センター長

- 平成25年2月2日（土）14：00～15：30
- 豊明市商工会1階大ホール 入場無料
- お問い合わせ 豊明市商工会・豊明市都市計画課・豊明市総務防災課
とよあけ耐震補強推進協議会

TEL0562-93-6666 商工会 担当 浅田

無料耐震診断申込
耐震改修相談
も承ります。

愛知県議会議員・坂田けんじの県政レポート



皆様とともに初春を迎えられましたことを心より感謝いたしますとともに、これからもご指導、ご支援をお願い申し上げます。

平成二十五年 元旦
坂田けんじ後援会会長 関 勝男

大規模災害時の地域防災の要は消防団です！

M9級クラスの南海トラフ地震発生が予想される私たちの東海地域。今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率予測が政府の地震調査委員会から発表されました。

県庁所在地別で出され、愛知県名古屋市は46.4%、三重県津市は87.4%、静岡県静岡市に至っては89.7%の高い確率が出されました。

●気象庁が定める10段階の揺れの強さで、震度6弱というのは3番目に強く、立っているのが難しく、固定していない家具の大半は移動します。耐震性が低い木造の建物は倒壊の恐れもあります。南海トラフ地震が発生すると愛知県では、建物倒壊や津波、火災などによる死者は最悪のケースで2~3000人以上とされています。

●このような大規模災害が発生した場合、地域に密着した存在として、地域の実情を熟知し動員力を有している消防団は、地域防災の要であり、住民に身近なところでの活躍がますます期待されるところであります。東日本大震災では、各地域の消防団員が目覚しい活躍をし、多くの命を救うことができました。その一方で、情報伝達手段を始めとする資機材の不足や不慣れな業務に携わるなどの課題も明らかになりました。

●自民党県議団消防・地震議員連盟の事務局長として、二度にわたり宮城県や岩手県の被災地の状況を自分自身の肌で感じた経験や、現地の消防団の皆さんからの経験談などを県の「大規模災害時における消防団活動のあり方検討会」において参考にしていただきました。そして、被害を最小限にとどめるための議論を重ね、県としての消防団活動指針を現在作成中であります。



坂田けんじの活動はホームページでご覧いただけます。
坂田けんじブログ ameblo.jp/gogosakata/

gogosakata	検索
www.gogosakata.com	

世界初！和歌山県の津波対策事業 直立浮上式津波防波堤 を視察

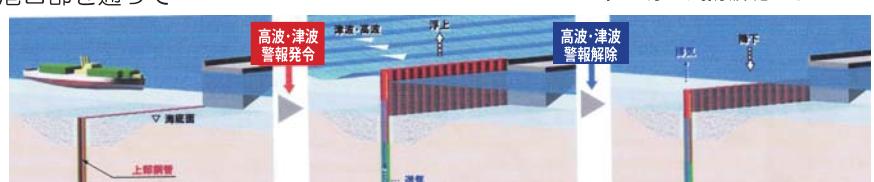
▼私が所属する県議会の安心・安全特別委員会として、昨年11月に愛知県と同様に太平洋に面する和歌山県の津波対策事業の現状を調査視察してきました。愛知県にも和歌山県にも10mを越える津波が押し寄せるといわれており、その津波により沿岸の多くの地域で人命・財産などに大きな被害をもたらすことが危惧されています。

▼太平洋側に開かれた港湾部は物流基地として船舶が入りますが、津波の来襲時にはその港口部を通って津波が進入し岸壁から陸上に遡上して、工業地域や住居地域に侵入してきます。津波の遡上を防ぐために高い防潮堤を岸壁沿いに建設することは物資の搬出入に支障を与えます。

そこで、常時は海底に格納されていて緊急時に浮上して津波の港内への進入を防ぐ可動式防波堤の設置が非常に有効となってきます。

▼和歌山県下津港海南地区で始まっているこの津波対策事業は愛知県の沿岸港湾部にも参考となるものです。今後は防災システムの一つとして検討すべきと考えています。

▼直立浮上式防波堤のイメージ



発行
坂田けんじ県政研究事務所

〒470-1126 豊明市三崎町高鶴6-18浜島ビル2階

*TEL 0562-95-2812 *FAX 0562-95-2626

*お困りごと、ご相談などお気軽におたずね下さい。

浜島ビル2F
(岡島書店)

